



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月6日

上場会社名 東洋電機株式会社

上場取引所 名

コード番号 6655 URL <http://www.toyo-elec.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 松尾 昇光

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理本部長 (氏名) 加藤 信

TEL 0568-31-4191

四半期報告書提出予定日 2019年11月12日

配当支払開始予定日

2019年12月3日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	4,252	0.3	22		74		36	
2019年3月期第2四半期	4,241	3.1	90		47		32	

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 33百万円 (%) 2019年3月期第2四半期 85百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	8.52	
2019年3月期第2四半期	7.71	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	10,306	5,623	53.5
2019年3月期	11,254	5,626	49.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 5,515百万円 2019年3月期 5,517百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		12.00		12.00	24.00
2020年3月期		12.00			
2020年3月期(予想)				12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,084	0.6	215	172.8	274	90.7	192	43.9	45.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	4,694,475 株	2019年3月期	4,694,475 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	448,170 株	2019年3月期	467,549 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	4,234,338 株	2019年3月期2Q	4,282,414 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P 2
(1) 経営成績に関する説明	P 2
(2) 財政状態に関する説明	P 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P 8
(継続企業の前提に関する注記)	P 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日)におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善が続き緩やかな回復基調が継続しましたが、業況判断は、外需の減速等により製造業を中心に慎重さが増した状態となりました。世界経済は、米中貿易摩擦の長期化や中国経済の減速、中東での地政学リスクの高まりなど、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

生産設備支援業種としての当電気機器業界におきましては、設備投資は増加傾向にあるものの機械投資には弱さが見られるなど、力強さに欠ける受注環境で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、国内外の成長市場への新規深耕開拓、在外子会社(南京華洋電気有限公司、Thai Toyo Electric Co., Ltd.)との連携強化により売上規模の拡大に注力してまいりました。また、売上総利益を意識した経営戦略や時間当たりの生産性に対する意識向上を図るなど、収益性改善に向けた取り組みを推進してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては前年同四半期に比べ、変圧器部門およびエンジニアリング部門の売上が増加したことにより、売上高は増収となりました。利益面は、原価率の改善活動や販売費及び一般管理費の抑制に努めたことにより、黒字転換いたしました。売上高は4,252百万円(前年同四半期比0.3%増)、営業利益は22百万円(前年同四半期は営業損失90百万円)、経常利益は74百万円(前年同四半期は経常損失47百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は36百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失32百万円)となりました。

なお為替レートは、中国人民元が15.69円(前年同四半期は16.67円)、タイバーツが3.51円(前年同四半期は3.35円)と、前年同四半期に比べ、中国人民元は0.98円高、タイバーツは0.16円安で推移いたしました。

各セグメントの経営成績は以下のとおりであります。

① 国内制御装置関連事業

エンジニアリング部門につきましては、物流市場向けの需要が拡大したことなどから搬送制御装置分野および配電盤分野が伸長したことにより、当部門の売上高は912百万円(前年同四半期比4.0%増)となりました。

機器部門につきましては、センサ分野および空間光伝送装置分野が低迷したことにより、当部門の売上高は901百万円(前年同四半期比3.2%減)となりました。

変圧器部門につきましては、データセンター向けの需要が拡大したことなどにより、当部門の売上高は1,280百万円(前年同四半期比7.6%増)となりました。

デバイスソリューション部門につきましては、無線モニタリングシステムの需要が拡大しソリューション向け装置分野が伸長したことなどにより、当部門の売上高は501百万円(前年同四半期比4.4%増)となりました。

以上の結果、国内制御装置関連事業の売上高は3,596百万円(前年同四半期比3.4%増)となり、セグメント利益は66百万円(前年同四半期はセグメント損失57百万円)となりました。

② 海外制御装置関連事業

海外制御装置関連事業につきましては、アジア市場でエレベータセンサの価格競争が激化していることや中国国内での自動化設備の需要が低迷したことなどにより当事業の売上高は235百万円(前年同四半期比30.5%減)となりセグメント利益は、0百万円(前年同四半期比74.6%減)となりました。

③ 樹脂関連事業

樹脂関連事業につきましては、主に米中貿易摩擦の影響により海外向けの受注が減少したことから、当事業の売上高は420百万円(前年同四半期比0.7%減)となりました。セグメント利益は販売費及び一般管理費の抑制などにより14百万円(前年同四半期比1.4%増)となりました。

(セグメント別売上高：参考値)

(単位：百万円未満切捨)

区分	2019年3月期 第2四半期		2020年3月期 第2四半期		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
国内制御装置関連事業	百万円 3,479	% 82.0	百万円 3,596	% 84.6	百万円 116	% +3.4
エンジニアリング部門	877	20.7	912	21.5	35	+4.0
機器部門	931	22.0	901	21.2	△30	△3.2
変圧器部門	1,189	28.0	1,280	30.1	90	+7.6
デバイスソリューション部門	480	11.3	501	11.8	21	+4.4
海外制御装置関連事業	338	8.0	235	5.5	△103	△30.5
樹脂関連事業	423	10.0	420	9.9	△3	△0.7
合計	4,241	100.0	4,252	100.0	10	+0.3

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ948百万円減少し、10,306百万円となりました。

流動資産は、900百万円減少の6,671百万円となりました。これは主に、電子記録債権の減少453百万円、受取手形及び売掛金の減少434百万円ならびに現金及び預金の減少164百万円などによるものであります。

固定資産は、47百万円減少の3,634百万円となりました。これは主に、有形固定資産の減少48百万円などによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ945百万円減少し、4,682百万円となりました。

流動負債は、851百万円減少の3,038百万円となりました。これは主に、短期借入金の減少423百万円、支払手形及び買掛金の減少196百万円ならびに電子記録債務の減少82百万円などによるものであります。

固定負債は、94百万円減少の1,644百万円となりました。これは主に、長期借入金の減少60百万円などによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ3百万円減少し、5,623百万円となりました。

これは主に、その他有価証券評価差額金の減少5百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の通期の業績予想につきましては、2019年5月10日に公表いたしました業績予想を修正しておりません。

なお、上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定要素を含んでおり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,116,842	1,952,096
受取手形及び売掛金	3,032,338	2,598,039
電子記録債権	1,134,299	680,911
商品及び製品	213,524	268,054
仕掛品	436,832	524,295
原材料及び貯蔵品	535,570	534,337
その他	103,321	113,965
貸倒引当金	△474	△372
流動資産合計	7,572,254	6,671,328
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	840,606	814,492
土地	1,207,482	1,210,854
建設仮勘定	3,024	—
その他(純額)	301,449	278,960
有形固定資産合計	2,352,563	2,304,307
無形固定資産		
リース資産	160,734	141,824
土地使用権	182,546	176,987
その他	30,810	58,305
無形固定資産合計	374,091	377,117
投資その他の資産		
投資有価証券	340,092	331,792
繰延税金資産	322,715	316,960
その他	293,451	304,967
貸倒引当金	△300	△300
投資その他の資産合計	955,959	953,419
固定資産合計	3,682,614	3,634,844
資産合計	11,254,869	10,306,172

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,130,594	933,737
電子記録債務	508,413	426,185
短期借入金	1,539,140	1,115,740
未払法人税等	76,913	40,765
賞与引当金	173,768	109,539
製品補償引当金	19,362	19,194
その他	441,432	393,092
流動負債合計	3,889,624	3,038,255
固定負債		
長期借入金	596,354	535,584
長期末払金	301,947	299,810
役員退職慰労引当金	26,188	27,663
退職給付に係る負債	591,232	581,761
その他	222,816	199,663
固定負債合計	1,738,539	1,644,482
負債合計	5,628,163	4,682,738
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,037,085	1,037,085
資本剰余金	866,404	869,465
利益剰余金	3,711,616	3,696,972
自己株式	△265,590	△254,582
株主資本合計	5,349,515	5,348,939
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	77,622	71,644
為替換算調整勘定	90,334	94,590
その他の包括利益累計額合計	167,956	166,234
非支配株主持分	109,233	108,260
純資産合計	5,626,705	5,623,434
負債純資産合計	11,254,869	10,306,172

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	4,241,361	4,252,001
売上原価	3,092,610	3,075,443
売上総利益	1,148,750	1,176,557
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	82,668	91,072
給料手当及び賞与	375,954	336,521
賞与引当金繰入額	45,046	42,375
退職給付費用	22,011	19,897
役員退職慰労引当金繰入額	19,530	2,725
福利厚生費	117,390	109,193
旅費及び交通費	62,793	53,425
減価償却費	37,240	36,011
賃借料	29,865	30,519
技術研究費	60,526	53,704
その他	385,782	378,737
販売費及び一般管理費合計	1,238,810	1,154,181
営業利益又は営業損失(△)	△90,059	22,375
営業外収益		
受取利息	630	355
受取配当金	15,470	21,616
受取賃貸料	17,762	20,593
助成金収入	11,407	8,386
雑収入	16,002	20,079
営業外収益合計	61,273	71,031
営業外費用		
支払利息	9,612	9,505
不動産賃貸原価	8,470	8,893
雑損失	687	388
営業外費用合計	18,769	18,788
経常利益又は経常損失(△)	△47,556	74,619
特別利益		
固定資産売却益	710	—
投資有価証券売却益	5,081	—
特別利益合計	5,792	—
特別損失		
固定資産除却損	48	41
投資有価証券評価損	166	—
特別損失合計	215	41
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△41,979	74,577
法人税、住民税及び事業税	12,147	29,519
法人税等調整額	△22,663	8,377
法人税等合計	△10,515	37,896
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△31,464	36,680
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,531	602
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△32,996	36,078

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△31,464	36,680
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,045	△5,978
為替換算調整勘定	△50,510	2,680
その他の包括利益合計	△53,556	△3,297
四半期包括利益	△85,020	33,383
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△79,105	34,356
非支配株主に係る四半期包括利益	△5,914	△973

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

2020年3月期 第2四半期決算短信(参考資料)

東洋電機株式会社

1. 経営成績

当第2四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日)におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善が続き緩やかな回復基調が継続しましたが、業況判断は、外需の減速等により製造業を中心に慎重さが増した状態となりました。世界経済は、米中貿易摩擦の長期化や中国経済の減速、中東での地政学リスクの高まりなど、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

生産設備支援業種としての当電気機器業界におきましては、設備投資は増加傾向にあるものの機械投資には弱さが見られるなど、力強さに欠ける受注環境で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、国内外の成長市場への新規深耕開拓、在外子会社(南京華洋電気有限公司、Thai Toyo Electric Co.,Ltd.)との連携強化により売上規模の拡大に注力してまいりました。また、売上総利益を意識した経営戦略や時間当たりの生産性に対する意識向上を図るなど、収益性改善に向けた取り組みを推進してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績につきましては前年同四半期に比べ、変圧器部門およびエンジニアリング部門の売上が増加したことにより、売上高は増収となりました。利益面は、原価率の改善活動や販売費及び一般管理費の抑制に努めたことにより、黒字転換いたしました。売上高は4,252百万円(前年同四半期比0.3%増)、営業利益は22百万円(前年同四半期は営業損失90百万円)、経常利益は74百万円(前年同四半期は経常損失47百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は36百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純損失32百万円)となりました。

①連結

(単位:百万円未満切捨、%)

	2016年9月期	2017年9月期	2018年9月期	2019年9月期		
	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	増減額	増減率
売上高	3,966	4,113	4,241	4,252	10	0.3
営業利益又は 営業損失(△)	133	150	△ 90	22	112	-
経常利益又は 経常損失(△)	155	186	△ 47	74	122	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益 又は親会社株主に帰属する 四半期純損失(△)	98	125	△ 32	36	69	-

②個別

(単位:百万円未満切捨、%)

	2016年9月期	2017年9月期	2018年9月期	2019年9月期		
	(実績)	(実績)	(実績)	(実績)	増減額	増減率
売上高	3,591	3,566	3,539	3,609	70	2.0
営業利益又は 営業損失(△)	50	35	△ 157	△ 51	105	-
経常利益又は 経常損失(△)	85	104	△ 78	23	101	-
四半期純利益又は 四半期純損失(△)	52	77	△ 49	14	64	-

③セグメント別売上高

(単位:百万円未満切捨)

	2018年9月期		2019年9月期		比較増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
国内制御装置関連事業	3,479	82.0%	3,596	84.6%	116	3.4%
エンジニアリング部門	877	20.7%	912	21.5%	35	4.0%
搬送制御装置分野	137	3.2%	271	6.4%	134	98.0%
印刷制御装置分野	107	2.5%	53	1.2%	△ 53	△ 50.4%
監視制御装置分野	291	6.9%	198	4.7%	△ 93	△ 32.0%
配電盤分野	341	8.1%	389	9.2%	47	14.0%
機器部門	931	22.0%	901	21.2%	△ 30	△ 3.2%
センサ分野	702	16.6%	675	15.9%	△ 27	△ 3.9%
空間光伝送装置分野	228	5.4%	225	5.3%	△ 3	△ 1.3%
変圧器分野	1,189	28.0%	1,280	30.1%	90	7.6%
デバイスソリューション部門	480	11.3%	501	11.8%	21	4.4%
表示器分野	185	4.4%	150	3.5%	△ 34	△ 18.7%
ソリューション向け装置分野	295	6.9%	350	8.3%	55	18.9%
海外制御装置関連事業	338	8.0%	235	5.5%	△ 103	△ 30.5%
樹脂関連事業	423	10.0%	420	9.9%	△ 3	△ 0.7%
合計	4,241	100.0%	4,252	100.0%	10	0.3%

2. 財政状況

総資産の減少要因は、流動資産における電子記録債権の減少453百万円、受取手形及び売掛金の減少434百万円などによるものであります。

純資産の減少要因は、その他有価証券評価差額金の減少5百万円などによるものであります。

①連結

(単位:百万円未満切捨)

	2019年3月期	2019年9月期	前期比増減
総資産	11,254	10,306	△ 948
純資産	5,626	5,623	△ 3
自己資本比率	49.0%	53.5%	-
1株当たりの純資産	1,305円32銭	1,298円82銭	-

②個別

(単位:百万円未満切捨)

	2019年3月期	2019年9月期	前期比増減
総資産	9,931	9,071	△ 859
純資産	4,874	4,846	△ 27
自己資本比率	49.1%	53.4%	-
1株当たりの純資産	1,153円14銭	1,141円37銭	-

3. キャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、1,320百万円となり前連結会計年度末に比べ165百万円減少(11.1%減)となりました。

営業活動の結果得られた資金457百万円の主な内訳は、売上債権の減少による収入884百万円などによるものです。投資活動の結果使用した資金57百万円の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出30百万円などによるものです。財務活動の結果使用した資金は565百万円の主な内訳は、長期借入金の返済による支出308百万円などによるものです。

①連結

(単位:百万円未満切捨)

	2018年9月期	2019年9月期	2019年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 96	457	△ 320
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 209	△ 57	△ 100
財務活動によるキャッシュ・フロー	128	△ 565	313
現金及び現金同等物の期末残高	1,417	1,320	1,484

②個別

(単位:百万円未満切捨)

	2018年9月期	2019年9月期	2019年3月期
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 31	406	△ 330
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 164	△ 24	△ 8
財務活動によるキャッシュ・フロー	106	△ 521	252
現金及び現金同等物の期末残高	920	785	924

4. 配当状況

当社の株主に対する利益還元につきましては、経営の重要施策として位置付けており、財務体質ならびに経営基盤の強化を図りつつ、継続的かつ安定的な配当を実施することを基本としております。

従いまして、当連結会計年度における配当金につきましては、中間配当は1株当たり12円、期末配当は1株当たり12円の予定で、年間24円とさせていただきます。予定であります。

なお、内部留保資金につきましては、経営環境の変化に対応できる企業体質の確立と、今後の事業展開に向け、既存事業の体質強化、新事業・新技術の開発促進、経営効率の向上を図るための投資などに活用し、さらなる事業競争力の強化に取り組んでまいります。

5. 設備投資状況

当第2四半期連結累計期間における当社グループの設備投資は、主に生産設備の更新や社内システムの改修などを実施いたしました。

なお、下期の設備投資につきましては、生産設備の更新や老朽化設備の改修を中心に、今後の業績等を勘案しつつ進めてまいります。

①連結

(単位:百万円未満切捨)

	2018年9月期 (実績)	2019年9月期 (実績)	2020年3月期 (下期見込)	2020年3月期 (通期見込)	2019年3月期 (実績)
設備投資	97	66	97	163	162
減価償却額	118	113	136	249	247

②個別

(単位:百万円未満切捨)

	2018年9月期 (実績)	2019年9月期 (実績)	2020年3月期 (下期見込)	2020年3月期 (通期見込)	2019年3月期 (実績)
設備投資	63	35	64	100	80
減価償却額	64	61	82	144	132

6. 研究開発状況

当第2四半期連結累計期間における当社グループの研究開発活動は、国内制御装置関連事業を中心に、事業戦略に

合致したコア技術・製品競争力の強化を推進し、優先度の高いテーマを中心に効率的な開発活動に取り組んでまいりました。

主な研究開発として、市場や顧客のニーズに対応するために、原価低減につながる製品改良や新製品の開発に取り組んでまいりました。またR&D部門を中心として将来を見据えた新技術の研究開発に取り組み、新技術開発テーマには、大学等との共同研究を積極的に推進し、研究開発の迅速化・効率化に努めました。

なお、下期の研究開発につきましては、今後の業績を勘案し、将来に向けた新技術や新製品の開発に取り組み、顧客や市場ニーズに対応した新製品の提供に努めてまいります。

①連結

(単位:百万円未満切捨)

	2018年9月期 (実績)	2019年9月期 (実績)	2020年3月期 (下期見込)	2020年3月期 (通期見込)	2019年3月期 (実績)
技術研究費	60	53	88	142	141

②個別

(単位:百万円未満切捨)

	2018年9月期 (実績)	2019年9月期 (実績)	2020年3月期 (下期見込)	2020年3月期 (通期見込)	2019年3月期 (実績)
技術研究費	60	53	83	136	141

7. 当期通期の業績予想

通期業績予想につきましては、下期の動向が明確でないことから、現時点で修正を行っておりません。なお、2019年5月10日に公表いたしました業績予想は以下のとおりです。

連結

(単位:百万円未満切捨)

	2019年3月期	2020年3月期予想	対前年比増減額	対前年比増減率
売上高	9,026	9,084	+ 57	+ 0.6%
営業利益	78	215	+ 136	+ 172.8%
経常利益	143	274	+ 130	+ 90.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	133	192	+ 58	+ 43.9%

※上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想と異なる場合があります。

以上